

# 広島で、戦争推進 核抑止力を賛美！

## G7 サミットとは???



新たな戦前にはさせない  
5月3日憲法大集会に  
25000人

5月19日～21日のG7広島サミットはウクライナのゼレンスキー大統領が電撃的に来日し、後半日程の議題はウクライナのロシアへの反転攻勢支援一色となった。さらに中国やロシアの覇権主義に対抗する方針を打ち出した。「核軍縮広島ビジョン」ではロシア

## 市民連合しながわ

ニュース NO.18 23.5.31 発行

<http://cashina.net/>

shiminrengo.shinagawa@gmail.com

の核による威嚇は非難するが、米仏英の核は抑止力として肯定するという、反核・平和の都市広島の思いとは真逆の、戦争推進、核礼賛サミットとなった。

平和憲法を持ち、G7で唯一、NATO加盟国でない日本が、議長国としてやるべきは、戦争推進ではなく、即時停戦と、話し合いで解決の道を探ること、すべての核の廃棄に向けて世界に発信することではなかったのか？

ブラジルのルラ大統領はロシアのウクライナ侵攻にも、米欧のウクライナへの武器供与も批判しており、「当事者抜きでの平和はあり得ない、ウクライナ問題はG7でなく国連で議論すべき」「ブラジルはインドやインドネシアなど、まだ戦争に巻き込まれていない中立の国々と平和に向けて話し合い、『グローバルノース』（先進国）の国々ができないことをしたい」と語っている。これこそ真の平和実現の道ではないのか？

また、被爆者でノーベル平和賞で受賞講演を行ったサーロー節子さんは「自国の核兵器は肯定し、対立する国の兵器を非難するばかりの発信を被爆地からするのは許されない」。核兵器禁止条約の締結国との協働など期待していたが「広島ビジョンでは全く無視されている」と痛烈に批判した。



## 「新たな戦前にはさせない」

### 5月3日憲法大集会に25,000人

晴天に恵まれた5月3日憲法記念日、今年も憲法大集会が、お台場の有明防災公園で開催されました。参加者は、昨年15,000人を大幅に上回る25,000人でした。(いずれも主催者発表)

「新たな戦前にはさせない」とタイトルにあるように、日本が軍拡へと大きく舵を切る中で、平和と民主主義を旗印とする今の憲法が守れるのかどうか、危機感の強さを物語っています。有識者、政党、各団体からのスピーチがありました。「起こるかどうかわからない戦争より前に現実に対処しなければならない脅威があるはずだ」「台湾有事は本当に日本の有事なのか」「中国との対立は外交でコントロールすべき」「国家による戦争と個人によるハラスメント、暴力で問題を解決しようとする点では同じ構造だ」「脅威をあおるのはかつて日本の歩んだ道である」「平和と平等は手を携えてやってくる、しかし逆の場合もある」



力強い発言に会場は盛り上がり、集会後はパレードで危機感をアピールしました。



## マイナンバーカードのリスク

マイナンバーカードには、個人番号、住所、氏名など個人情報が内蔵されている他、健康保険証、公金受取口座、今後は運転免許証、証券口座などが紐づけされる予定です。そのため、紛失した場合には個人情報漏洩のリスクがあります。

カードには顔写真が掲載されており身分証明の本人確認に利用できますが、ICチップを利用する場合は、顔写真は意味がありませんので、他人に悪用される心配もあります。

### マイナンバーカードを 廃止した国

イギリス⇒費用対効果やプライバシーなどの問題で2010年廃止  
ドイツ⇒違憲判決で廃案  
フランス⇒国民反対で導入されず  
オーストラリア⇒1987年廃止  
ハンガリー⇒違憲判決で廃止  
アメリカ⇒「社会保障番号」なりすまし犯罪が増加し社会保障番号を制限している州も

すでに住民票などのコンビニ交付サービスで、他人のものが発行されるトラブルがあり、カードと健康保険証が一体化した「マイナ保険証」に、別人の情報が紐づけられるトラブルも7000件余り起きています。**マイナンバーカードは廃止へ！**